

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		国際教養学科					
科目名称		ボランティア実践Ⅱ				授業形態		講義・演習					
科目コード		534120	単位数		2単位	配当学年		2	実務経験教員		○	○	○
担当教員名		海野 るみ									ICT活用	○	
授業概要		<p>この授業は、“ボランティア・マインド”（自発的に物事を考えて行動・実践する心の持ち方）を身につけ、社会的な課題に取り組めるような活動や実践を構想・企画・運営する力を養うことを目的としています。</p> <p>1年間を通じて行う授業では、ボランティアの概念や歴史的背景の理論や知識をしっかりと踏まえた上で、実践を行うために必要な考え方や心構えなどを、学生同士のディスカッションやグループワークを通して学びます。さらに、実際にボランティア活動を行う経験を積みながら、様々な人とのコミュニケーションの取り方や仲間たちとのチームワーク、さらには社会的課題に実践的に取り組む方法などを学びます。</p> <p>この授業は、大学の近隣地域の自治会と協働して、防災に関連した種々のボランティア活動を行ったり、児童館と連携した行事を行っています。年間を通して地域の方々と触れ合うことで、一回限りのボランティア活動では実現できないより深い学びと理解が可能となります。</p>											
関連する科目		ボランティア実践Ⅰ、											
授業の進め方と方法		<p>授業は、理論や知識を学ぶ時間（いわゆる「座学」の時間）とアクティビティを中心にした時間とで構成されます。アクティブ・ラーニングや課題解決型のPBLの時間をふんだんに取り入れ、さらには学生自身が自主的・自発的に考えて行動・活動する機会や時間が多くあります。いわば、教員はファシリテーターとして授業の時間と空間、環境を提供し、授業中は学生も教員も主体的に、自発的に、自由に考えて行動する力を共に磨いていきます。</p>											
授業計画【第1回】		イントロダクション：授業の目的、内容、ルール等の説明、Q&A											
授業計画【第2回】		日本社会とボランティア：「ボランティア」の概念、歴史的背景、日本におけるボランティアの展開と課題を理解する											
授業計画【第3回】		地域社会とボランティア：ボランティアを必要とする人々、状況・環境、活躍できる場について考える											
授業計画【第4回】		“先輩”たちに学ぼう①：地域の高齢者の方々へのインタビュー準備：インタビューとは何か、インタビュー調査の方法と理論の概要											
授業計画【第5回】		“先輩”たちに学ぼう②：地域の高齢者の方々へのインタビュー実践：個人史のインタビュー、高齢者ニーズの聞き取りを中心に調査する											
授業計画【第6回】		“先輩”たちに学ぼう③：地域の高齢者の方々へのインタビュー結果をまとめる（ポスター作り）											
授業計画【第7回】		「緑」とボランティア①：地域の公園でボランティア活動をされる方をゲストスピーカーに迎えてお話を聞く											
授業計画【第8回】		「緑」とボランティア②：地域の公園での植栽体験（実践）を通して、緑のボランティアの可能性を考える											
授業計画【第9回】		「子ども」とボランティア①：子どものための／共に行うボランティアの可能性（ディスカッション）											
授業計画【第10回】		「子ども」とボランティア②：子どもに寄り添うために：子どもの発達と心理の基本的な知識の概要を学び、子どもたちに接する際の心構えを考え、理解する											

授業計画【第11回】	防災マップづくりを学ぼう！：防災マップづくりの専門家（防災コーディネーター）を迎え、マップづくりの背景となる考え方と方法について学ぶ
授業計画【第12回】	防災まち探検に向けて：企画・準備：子どもたちと共に行う防災まち探検、マップづくりに向けての準備を行う
授業計画【第13回】	前期のまとめと後期に向けて&避難訓練について
授業計画【第14回】	防災まち探検①：地域の子どもたちと一緒に
授業計画【第15回】	防災まち探検②：地域の子どもたちと一緒に
授業計画【第16回】	防災訓練：地域自治会の皆さんと共に：避難訓練のスタッフボランティアとして活動の実践体験を行う
授業計画【第17回】	後期授業のオリエンテーション
授業計画【第18回】	「障がい」とボランティア①：「障がい」とは何か（どんなことか）を理解する
授業計画【第19回】	「障がい」とボランティア②：ボランティアの実際、可能性、課題を理解する
授業計画【第20回】	「障がい」とボランティア③：ディスカッション：私たちに何ができるか
授業計画【第21回】	ボランティアの可能性を考える：アート/スポーツとボランティア
授業計画【第22回】	ボランティアと多様性①：多様性とは何か
授業計画【第23回】	ボランティアと多様性②：ボランティア活動・実践と多様性の理解
授業計画【第24回】	国際交流・国際協力ボランティアの実際と課題
授業計画【第25回】	多文化共生社会とボランティア①
授業計画【第26回】	多文化共生社会とボランティア②
授業計画【第27回】	報告会に向けて：発表の形態、内容、広報の方法を考えて実践する

授業計画【第28回】	計画と実践①：佐土原・旭町児童館「英語であそぼう」に向けて
授業計画【第29回】	計画と実践②：佐土原・旭町児童館「英語であそぼう」
授業計画【第30回】	公開報告会
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアの概念、歴史的背景を理解する ・ ボランティア・マインドを醸成する ・ 自発的、主体的に考え、行動して、ボランティア活動の企画運営ができる ・ 多様な人々とのコミュニケーションができるようになる ・ 意見の異なる仲間とも協力して活動できるようになる ・ 地域社会や広い社会の課題を理解し、広い視野から解決の道筋を考えようとする態度を身につける
学修成果との関連	1.自ら考える能力を有する。／2.自分の言葉で表現できる能力を有する。／3.現代社会に関する基本的知識を有する。／4.多文化・異文化に関する基本的知識を有する。／5.地域社会に貢献する意欲を有する。／6.地域社会への貢献に必要な知識・技能を有する。
授業時間外学習【予習】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理論や知識を学んだ授業後は、しっかりと復習をして理解できるようにしてください。 ・ 実践に向けての準備期間は、授業外での準備も必要となる場合があります。グループの仲間と協力してしっかり準備してください。 ・ 学外で行われる多様なボランティア活動にアンテナを張って、可能な限り自発的に参加するようにしてください。
授業時間外学習【復習】	課題の提出などを通して、授業で得た知識や実践を通して得た手法や技法を確認してください。
課題に対するフィードバック	適宜フィードバックを行います。
評価方法・基準	<p>理論と実践の組合せによって内容の知的理解と実践的理解を行えるシラバスになっていますので、基礎的な知識を学ばないまま実践の場で活動することは避けてください。その意味で、評価は理論+実践をセットとして行います。したがって、通常の講義等とは異なり、2/3以上の出席率であっても、最終的に単位を付与できない場合がありますので気をつけてください。</p> <p>最終評価は、以下の基準で行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識の習得と実践による活動への意欲や自発的態度 40% ・ 課題提出 20% ・ 最終報告会での成果報告 30% ・ 自発的な学内外でのボランティア活動の企画・運営等 10%
テキスト	指定しません
参考書	必要に応じて授業時に提示します。
備考	<p>自発的な態度や意欲、自ら企画し運営する姿勢と方法を学ぶ時間です。</p> <p>積極的に知識を学び、実践に参加し、視野を広げて活動するよう心掛けましょう。</p> <p>何より、チームワークがボランティア活動の“肝”です。</p> <p>コミュニケーション力を磨いて、仲間たちと共に活動できる感覚も身につけましょう。</p>